

2022 年度第 3 回産業衛生技術部会幹事会 議事録

日時：2023 年（令和 5 年）2 月 13 日（月）13:00～14:00

場所：ZOOM によるオンライン開催

参加者：[幹事] 相澤，池田，川上，森，河合，齊藤，伊藤（昭），橋本，山野，中原，田村，榊原，伊藤（由），長見，竹内，東，田口，森本，浜井，保利，[監事] 加藤，[事務局] 中村（修），飯田

欠席：[幹事] 田畑，城，中元，光吉，宮内，渡邊，樋上 [担当理事] 土肥，上島

（敬称略）

議題（案）

1. 次期幹事メンバーの確認ならびに、退任される方（池田和博先生，大藪貴子先生，原邦夫先生），新任される方（川上貴教先生，渡邊裕晃先生，樋上光雄先生）の出席者から挨拶が行われた。
2. 次期部会長の選出に際して、他薦による推薦のあった橋本晴男先生，中原浩彦先生，齊藤宏之先生を候補者とした投票を実施した。その結果，橋本晴男先生（14 票），中原浩彦先生（3 票），齊藤宏之先生（3 票）となり，次期部会長は橋本晴男先生に決定した。
3. 今後の部会主催行事について
 - 1) 第 96 回日本産業衛生学会（宇都宮）での企画について説明がなされた。
 - シンポジウム 11「組織内外の産業衛生技術専門家の「自律的な化学物質管理」～オキュパイショナルハイジニストから見た実務／指導／助言・課題・展望～」(5/11 (木) 15:00～17:00)
 - 産業衛生技術部会フォーラム「これからの騒音障害予防対策について」(騒音障害防止研究会との共催) (5/12 (金) 15:30～17:30)
 - 拡大幹事会（ハイブリッド開催を予定）
 - 総会
 - ※ 関連企画
 - 教育講演 7「自律的な化学物質管理に関わる曝露測定等の測定について」
 - シンポジウム 20 (政策法制度委員会シンポジウム)「化学物質の自律管理へ向けて，それぞれの産業保健スタッフの果たすべき役割」
 - シンポジウム 4「化学物質の自律的管理における濃度基準の設定とアセスメントの実施」
 - 2) 第 33 回全国協議会（甲府）での企画案について
 - 産業衛生技術シンポジウム「経皮吸収に関する最近の動向（仮題）」の演者依頼候補として，みずほ情報総研，JNIOOSH，厚生労働省・委員会，手袋等保護具メーカー，日化協，行政，などが候補として挙げられた。
 - 産業衛生技術専門研修会「北陸甲信越における衛生管理活動について（仮題）」の演者（3 人ほど）等，4～5 月には決定し学会事務局への連絡が必要である旨が確認された。
 - 3) それ以降の部会主催行事のテーマ案について
 - 第 97 回日本産業衛生学会（広島）には，2023 年 9 月頃に企画案を出す必要があり，拡大幹事会などで検討することとされた。
 - 第 34 回全国協議会（千葉）
4. アジア産業衛生ネットワーク学会（ANOH）との協力関係について
 - 技術部会は日本産業衛生学会からの承認を得て，部会員の海外への関心や交流を促し専門性を高める目的で，昨年 ANOH に団体会員として参加した。橋本技術部会長より，ANOH の設立目的，参加国，大会運営，会費，次回日程（フィリピン，8/26-30），および今後 ANOH とどのように交流，協力を進めるか等について説明された。
 - ANOH 日本開催（2026 年？）を念頭において，今後 ANOH 日本開催の組織運営について，どの団体と共催とするか等について検討が必要との意見があった。
5. その他
 - 技術部会幹事より韓国産業衛生学会（2/22-23）への参加予定であること，また韓国産業衛生学会のプログラムには，アジアでの法規制への取り組みや国際的な取り組みの紹介も含まれていることが報告された。
 - OHTA 教材（ハイジニスト遠隔教育コース）の翻訳作業について，データの共有方法について報告がされた。